

甲賀市こども意見聴取 結果報告書

《目次》

1	こども意見聴取の開催結果概要	1
(1)	当日のプログラム	2
(2)	テーマ別の主な意見	2
資 料		6

令和7年 9月

甲賀市

1 甲賀市こども意見聴取の開催結果概要

現在、甲賀市では、こども基本条例の制定と、こども計画の策定に向けた取り組みを進めております。

今回、主役となるこどもたちの意見を条例や計画に取り入れるため、かつか21こども未来会議の皆さんにご協力いただき、こども議員のみなさんに対し、こどもまんなか社会についての講義をしたうえで、意見聴取を実施しました。

回	日時	内容	参加人数
第1回	令和7年7月29日(火) 13:00~15:00	講座「こどもまんなか社会って知ってるかな？」	11名
第2回	令和7年8月3日(日) 14:00~16:00	こども意見聴取	5名

こども意見聴取には、こども議員と卒業生の5名の方にご参加いただきました。

こどもの権利などの4つのテーマについて、こども議員のみなさんからディスカッションを通じて活発な意見交換が行われ、こども基本条例制定やこども計画策定の参考となる、貴重なご意見を多数いただきました。



こどもまんなか講座の様子



こども意見聴取の様子

(1) 当日のプログラム

ア 意見聴取の趣旨説明

イ 意見聴取

テーマごとにディスカッションと発表を実施

(ア) テーマ1 あなたが守ってほしいこどもの権利は？

(イ) テーマ2 こどもの権利は、どうしたら守られるかな？

(ウ) テーマ3 どんな「居場所」があればいいと思う？

(エ) テーマ4 悩みがあるとき、だれに・どこに相談する？

(2) テーマ別の主な意見

(ア) テーマ1 あなたが守ってほしいこどもの権利は？

1. 学校生活における「自由」を尊重してほしい

- ・校則をゆるくしてほしい
- ・髪型・髪飾り・メイク・靴下・服装などを自由に選べるようにしてほしい

2. 快適に過ごすための「環境改善」

- ・学校でハンディーファンや電気カイロなどの便利な機器を使えるようにしてほしい

3. 学び方や時間の「自己選択の権利」

- ・登校や下校の時間を自分で決められるようにしてほしい
- ・学校で受ける科目を自分で選べるようにしてほしい

(イ) テーマ2 こどもの権利は、どうしたら守られるかな？

1. 制度やルールの整備

- ・市で条例などを出す
- ・法律をつくる
- ・学年集会や全校集会で理由を説明し、校則を変える機会をつくる
- ・一回試してみて、良いかダメかを再判断してほしい

2. 学校・先生との関わり方

- ・先生と生徒が1対1で話し合う時間をつくる
- ・先生と生徒が話し合う時間を学校がつくる
- ・先生が子どもに寄りそう
- ・生徒に寄りそえない先生を寄りそえるようにする
- ・先生が生徒のことを攻めすぎないようにしてほしい
- ・話を聞かずに怒らないでほしい
- ・してもいないことで責められないようにしてほしい
- ・先生が命令を出しすぎないようにしてほしい
- ・先生の口の悪さを改善してほしい
- ・学校の秩序を守ろうとしすぎて逆効果にならないようにしてほしい
- ・やってもいないことを「諦めなさい」と言わないでほしい
- ・先生が生徒の私情に首を突っ込みすぎないようにほしい
- ・生徒のうわさをネタにしない
- ・相談をするときに先生が多人数で囲まない（4:1など）
- ・相談したことを広めない

3. 相談・支援体制の充実

- ・スクールカウンセラーを気軽に使えるようにする
- ・スクールカウンセラーへの信頼を高める工夫が必要
- ・子どもの意見の味方をしてくれる大人を学校に3~5人置く
- ・いじめや差別がないか月1回確認する
- ・いじめや差別問題を大人がしっかり解決に導く（聞いて終わりではなく）
- ・学習における支援（分からなくても置き去りにしない）

4. 人間関係・社会のあり方

- ・本を読んでほしい／新しい本がほしい
- ・図書館で声を出して遊べる場がほしい
- ・子どもが参加できるイベントを増やしてほしい

5. 子ども自身や家庭での願い

- ・おこづかいを 1,000 円か 2,500 円にしてほしい
- ・兄弟げんかをしたとき、原因をきちんと見て判断してほしい
- ・(「話が盛り上がる・やさしい・話を聞いてくれる大人」など、理想の大人像)
- ・語彙力がなくてうまく言えない自分の思いを受け止めてほしい

(ウ) テーマ3 どんな「居場所」があればいいと思う？

1. 気持ちを安心して話せる場所

- ・めちゃくちゃ自分に共感してくれて、一緒にぐちを吐いてくれるところ
- ・静かなところ
- ・たくさんのルールやきまりがないところ

2. 遊び・交流ができる場所

- ・お金を取らずに遊んだり勉強できるスペース (児童クラブみたいな)
- ・市民プール
- ・雨でも室内で楽しくすごせるところ
- ・友達とパーティーや泊まりができる施設

3. 学びや勉強の場

- ・塾で友達と勉強できる
- ・みんなで宿題や勉強するところ
- ・個人で使える広めの作業スペース

4. 家に居づらい子どものための居場所

- ・家出したい人が 1泊から 2日ぐらいできる場所
- ・家に帰りたくない子どものための施設 (1泊ぐらいできる)
- ・児童クラブ以外の子どもがすごせる場所

(エ) テーマ4 悩みがあるとき、だれに・どこに相談する？

1. 身近な人への相談

- ・友達 (仲の良い人)
- ・習い事の先生

2. 学校や専門の相談窓口

- ・スクールカウンセラー
- ・24時間子供 SOS ダイアル

3. オンライン・匿名相談

- ・LINE 相談
- ・匿名でチャットで相談できる場所があったらいい

4. 新しい相談の形(提案)

- ・大学生が小中学生と話をする機会

資 料

甲賀市子ども ワーキング こどもの権利について

(ア) テーマ1 あなたが守ってほしいこどもの権利は？

- ・校則を少しゆるく
- ・学校でのかみの毛の自由 メイクの自由 かみかざりの自由 くつ下の自由
- ・ハンディーファンや電気カイロなどの機械製品をつかえるようにする（学校で）
- ・学校での服装の自由
- ・登校・下校時刻の自由
- ・学校の受講科目を選べる権利

(イ) テーマ2 こどもの権利は、どうしたら守られるかな？

- ・市で条例などをだす
- ・法律をつくる
- ・スクールカウンセラーなどを気軽につかえるようにする
- ・良い先生を入れてもらえるようにする
- ・大人が日頃の子どもの行動をみる
- ・障がいをもつ人と仲を深める
- ・学年集会や全校集会でダメな理由などをくわしく話して、校則などを変えたりする機会をつくる
- ・先生と生徒が1対1で話し合う時間をつくり、権利を主張したり、意見を話しやすくする
- ・いじめなどがないか月に1回確認する
- ・話がもりあがれる やさしい 話しを聞いてくれる（※関係ないけどかっこいいから）
- ・子どもの意見の味方をしてくれるような大人を学校に3～5人おく
- ・差別をなくす
- ・先生と生徒が話し合う時間を学校がつくる
- ・生徒に寄りそえない先生を寄りそえるようにする
- ・学習における支援（分からなくてもそのまま置いていかれがち…）
- ・いじめや差別問題を大人がしっかり解決に導く きいておわりではなく
- ・おこづかいを1000円か2500円にしてほしい
- ・兄弟けんかした時、僕だけおこられるからちゃんとけんかした原因を考えたりしてほしい
- ・先生が子どもに寄りそう

- ・スクールカウンセラーに対して信頼していない人が多いからそこをなんとかする
- ・語彙力皆無 何を言っているのか分からない
- ・先生が命令を出しすぎている 口が悪い
- ・学校の秩序を守ろうとしすぎて生徒に逆効果
- ・やってもないことを「諦めなさい」とグイグイくる
- ・先生が生徒の私情に首を突っ込んでくる
- ・先生が生徒のことを攻めすぎないようにしてほしい
- ・話を聞かずに怒られる
- ・してもいないことで先生に責められるのはおかしい 話が通じない
- ・生徒のうわさをネタにしない
- ・相談をするときに、先生4：生徒1で威圧感を与えないようにする
- ・相談したことなどを広めない
- ・一回試してみて、いいかダメなのかをもう一度判断してほしい

(ウ) テーマ3 どんな「居場所」があればいいと思う？

- ・めちゃくちゃ自分に共感してくれて、一緒にぐちを吐いてくれるところ
- ・お金を取らずに遊んだり勉強できるスペース（児童クラブみたいな）
- ・市民プール
- ・家出したい人が1泊から2日ぐらいできる場所
- ・雨でも室内で楽しくすごせるところ
- ・塾で友達と勉強できる
- ・友達とパーティーや泊まりが出来る施設
- ・みんなで宿題や勉強するところ
- ・静かなところ
- ・たくさんのルールやきまりがないところ
- ・児童クラブ以外の子どもがすごせる場所
- ・個人で使える広めの作業スペース
- ・家に帰りたくない子どものために施設をつくる（1泊くらいできるような）

(エ) テーマ4 悩みがあるとき、だれに・どこに相談する？

- ・友達一択（仲良い人）
- ・友達
- ・友達
- ・友達
- ・習い事の先生

- ・LINE 相談
- ・スクールカウンセラー
- ・匿名で、チャットで相談できる場所があったらいい
- ・大学生が、小中学生と話をすることがほしい
- ・24時間子供 SOS ダイアル